

東山魁夷

と 信州ゆかりの作家たち

長野県信濃美術館 東山魁夷館コレクションより

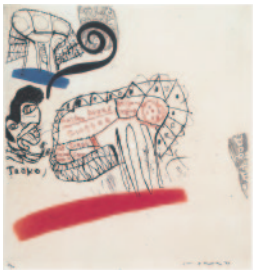
平成27年2月20日(金) - 3月22日(日)



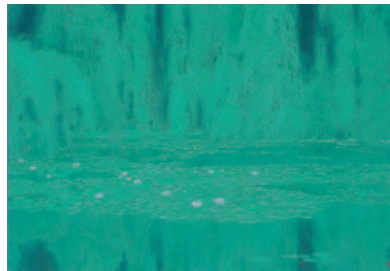
東山魁夷 <夕紅>1996(平成8)年

東山魁夷(ひがしやま かいち、1908-1999)は戦後を代表する日本画家であり、風景画家です。魁夷が風景画に目覚めるのは、終戦間近に徴兵され軍事訓練の日々を送っていたとき、小休止中に熊本城から阿蘇の広大な風景を眺めた経験に端を発します。終戦後に風景画家として立った魁夷は日本や北欧、中国へと旅を重ね、そこから得たテーマで多くの作品を描きました。「自然の中で私たちは生かされている」という世界観、「描くこと」は「祈ること」であるという信条のもとに描かれたそれらの作品は、今でも多くの人々に愛され親しまれています。

本展では魁夷の日本最大のコレクションを有する長野県信濃美術館東山魁夷館から魁夷の代表作《白馬の森》をはじめとする日本画や習作、リトグラフ、装幀本など43点に加え、国際的版画家の池田満寿夫の作品36点、および中村不折、池上秀敏、石井柏亭など信州ゆかりの作家たちの作品によって信州の魅力を紹介いたします。



◎国際的版画家 池田満寿夫(左から)
<タエコの朝食>1963(昭和38)年 第33回ヴェネツィア・ビエンナーレ(大賞)
<バラはバラ>1966(昭和41)年 第33回ヴェネツィア・ビエンナーレ(大賞)



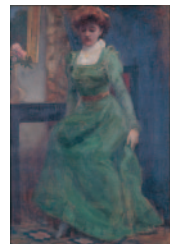
東山魁夷 <沼の静寂>1983(昭和58)年



東山魁夷 <習作 花明り>1964-66(昭和39-41)年

◎信州ゆかりの作家たち(左から)

石井柏亭 <画室小集>1949(昭和24)年
池上秀敏 <四季花鳥>(四幅対のうち、春と夏の部)1918(大正7)年
西郷孤月 <主の救い>1901(明治34)年
中村不折 <西洋婦人像>1903-04(明治36-37)年



◎同時開催

所蔵品によるテーマ展「長野に生まれた作家たち」

*本展チケットにてご覧いただけます

〔自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク〕

地勢の異なる地方の13県(青森、山形、石川、福井、山梨、長野、三重、奈良、鳥取、島根、高知、熊本、宮崎)が「ローカル・アンド・ローカル」の発想で人や地域の新しいネットワークをつくり、地方自治の新しいモデルをつくるための活動を行っています。

福井県立美術館

〒910-0017 福井市文京3丁目16-1
Tel.0776-25-0452 Fax.0776-25-0459
<http://info.pref.fukui.jp/bunka/bijutukan/bunka1.html>

交通のご案内

- コミュニティバス すまいる
JR福井駅前西口、「駅前商店街」または「福井駅北フェニックスホテル」のりばより、田原・文京方面線「県立美術館前」下車
- 京福バス
JR福井駅前西口(10番のりば)より、23、26系統・福井総合病院線「藤島高校前」下車 ※日曜日、祝日は運休
- ふくい鉄道・えちぜん鉄道
「田原町駅」下車、徒歩約8分。
- 車・タクシー
JR福井駅前より約8分。北陸自動車道・福井北ICより約15分。

※ご来館の際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。お車の際はアイドリングストップにご協力ください。

